

目次

序	—内閣総理大臣Ⅱ首相の権限と政治指導の類型	1
第一章	橋本龍太郎首相	9
一、はじめに	—橋本内閣の特色	11
二、橋本首相の生い立ち		17
三、橋本首相の思想		23
四、橋本首相の行動		26
五、おわりに	—橋本首相の評価	30
第二章	小渕恵三首相	35
一、はじめに	—小渕内閣の特色	37
二、生い立ち		41
(一) 小渕一家		41
(二) 小渕恵三が政治家になるまで		43
三、小渕恵三の思想		47
四、小渕首相の行動		52
五、小渕恵三内閣		58
(一) 一九九八年		58
(二) 一九九九年		62
(三) 二〇〇〇年		65
六、おわりに	—小渕内閣の評価	67
第三章	森喜朗首相	69
一、はじめに	—森喜朗氏…その背景と軌跡	71
二、靖国神社参拝の思い		74
三、政権復帰をかけて		77
四、「森喜朗氏」のルーツ		81
五、政治家・森喜朗氏の素質		85
六、「森首相」誕生のいきさつ		89
七、課題と実績		93
八、「失言」の真相		98
九、総選挙と「加藤の乱」		102
一〇、森首相の資質		106
一一、おわりに	—「逆説」の政治家	109

第四章 小泉純一郎首相

- 一、はじめに ―小泉内閣の特色……………115
- 二、小泉純一郎の生い立ち……………119
- 三、小泉首相の思想……………129
- 四、小泉首相の行動……………138
 - (一) 自民党総裁選挙……………138
 - (二) 郵政解散・総選挙……………142
- 五、結び ―小泉内閣の評価……………145

113

第五章 安倍晋三首相

- 一、はじめに ―安倍内閣の特色……………151
- 二、安倍首相の生い立ち……………153
 - (一) 祖父Ⅱ岸信介の経歴……………153
 - (二) 父Ⅱ安倍晋太郎の経歴……………155
 - (三) 安倍晋三の生い立ち……………156
- 三、安倍首相の思想……………159
 - (一) 祖父の影響……………159
 - (二) 父の影響……………162
- 四、安倍首相の行動……………165
 - (一) 安倍晋三の政治経歴……………165
 - (二) 安倍晋三の人気の高まり……………166
 - (三) 「ポスト小泉」の筆頭候補としての安倍晋三……………169
- 五、安倍内閣……………172
 - (一) 総理大臣就任後の初会見、国会での所信表明演説……………172
 - (二) 安倍首相の政権運営……………175
 - (三) 突然の辞任表明……………179
- 六、おわりに ―安倍内閣の評価……………180

第六章 福田康夫首相

- 一、はじめに ―問題の所在……………187
- 二、福田首相の生い立ち……………189
 - (一) サラリーマンから政治家へ……………189
 - (二) 「無欲さ」と「したたかさ」……………192
- 三、福田首相の思想と行動……………195
 - (一) 外交畑を歩む……………195
 - (二) 「福田ドクトリン」と「全方位平和外交」……………196
- 四、福田内閣の特色……………200
 - (一) 福田内閣の発足……………200

185

149

(二)	「ねじれ国会」と「大連立構想」の挫折	202
(三)	福田首相の苦悩	206
(四)	福田首相の辞任	208
五、	おわりに ―福田内閣の評価	211

第七章 麻生太郎首相

215

一、	はじめに	217
二、	麻生太郎の吉田茂から学んだ政治思想	218
三、	吉田茂対鳩山一郎と麻生太郎対鳩山由紀夫の歴史的対決の勝敗	220
四、	麻生太郎の宰相論	224
五、	麻生太郎の評価すべきアジア外交の視点	228
(一)	小泉・安倍両政権時代の外務大臣としてのアジア外交	228
(二)	麻生政権時代のアジア外交	232
六、	宰相・麻生太郎の政治家としての評価	236
七、	おわりに	238

第八章 鳩山由紀夫首相

241

一、	はじめに ―問題の所在	243
二、	鳩山由紀夫の家系と生い立ち	245
(一)	鳩山一家	245
(二)	鳩山由紀夫の生い立ちと政治家への道	249
三、	鳩山由紀夫の思想	253
(一)	内政―友愛革命と憲法改正	254
(二)	外政―友愛外交と東アジア共同体	260
四、	鳩山由紀夫の行動	264
(一)	新党さきがけへの参画	264
(二)	民主党の結成	266
(三)	政権交代に向けて	267
五、	鳩山由紀夫内閣	271
(一)	二〇〇九年	271
(二)	二〇一〇年	273
六、	おわりに ―課題と評価	275

第九章 菅直人首相

279

一、	はじめに	281
二、	菅直人の軌跡	284
(一)	政治家になるまで	284
(二)	社民連時代	286

- (三) 新党さきがけ時代……………291
- (四) 民主党時代……………295
 - (1) 民主政権発足まで / (2) 鳩山政権
- 三、菅直人政権……………300
 - (一) 菅政権の発足と参院選挙敗北……………300
 - (二) 民主党代表選挙と尖閣島中国漁船事件……………301
 - (三) 陸山会事件、ロシア外交、TPP参加、APEC首脳会談……………303
 - (四) 二〇一一年度予算、内閣改造、党内抗争……………304
 - (五) 東日本大震災、原発問題、菅内閣総辞職……………306
- 四、おわりに ―菅直人とその政権から学ぶべきこと……………309

第一〇章 野田佳彦首相……………313

- 一、はじめに……………316
- 二、経歴……………317
 - (一) 生い立ち……………317
 - (二) 政治的経歴……………318
- 三、政治的理念の形成……………324
 - (一) 松下政経塾……………324
 - (二) 保守主義……………329
 - (三) 中庸の政治……………332
 - (四) 将来のビジョン……………333
- 四、首相就任前の政策……………336
 - (一) 内政……………336
 - (1) A級戦犯問題 / (2) 財政問題 / (3) 国内産業問題
 - (4) 電力・エネルギー問題 / (5) 憲法
 - (二) 外交・安全保障……………343
 - (1) 日米安全保障条約 / (2) 自衛隊の海外派遣 / (3) 国連
 - (4) アジア外交
- 五、今後の政策の見通し……………349
 - (一) 税制改革……………349
 - (二) 普天間問題……………350
 - (三) TPP（環太平洋パートナーシップ協定）……………351
 - (四) 武器輸出三原則の緩和……………351
 - (五) 自衛隊の海外派遣……………352
 - (六) その他……………352
- 六、おわりに……………354

- 結 語 ―内閣総理大臣 〓首相の職務権限の範囲……………357
- 執筆者紹介……………360